

# 松尾育成会だより

平成13年度  
第5号

松尾青少年健全育成会  
広報部



この四月、十三年度育成会の会長を仰せつかりました。未熟者ですが、地区の皆さんに支えられて任務を全うしていきたくと願うものです。ご支援の程よろしくお願ひ致します。

地区の仕事の一端に就くことにより、多数の方々がしっかりと働かれておられることに驚かされ、かつ感激を深くしております。育成会については、育成会独自の仕事も、この広報活動、七月からの挨拶運動の提唱、つづいて九月、二月と映画・スポーツ・ゲーム等の事業を持ちますが、それら以上に、各部門の皆様こそ育成事業に深く関わって下さることを思うものです。育成会の事業の使命を、主として幼児・児童・生徒の皆さんを対象としつつ、明るく健康的な環境づくりと考えますれば、区長さんを中心とする地区の活動、そのなかのPTAの活動、さらに松尾自治会各部の活動、公民館活動、スポーツクラブ・文芸クラブ等と多くの団体、部門による活動が成果を上げられています。この意味では、育成会は地区活

## 明るい社会を

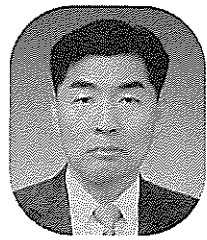
青少年健全育成会長 平栗 武

動物のトータルで考えて良いかも知れませんが、従って、育成会も皆様に共に勉強させて頂き、そのなかで成長していきたくと願うものです。よろしくお願ひします。

### 自然は感動の宝石箱

自然の中で豊かな心の育成を！

松尾小学校長 手塚 恒人

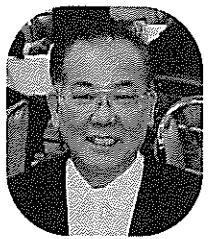


私は、小学校教育時代を松尾で過ごしました。もう、四十年前のことです。当時の松尾は自然が豊かで、ちょっと川へ入れればフナ・コイ・ドジョウ・シジミ・カワエビを、八幡山―代田山あたりへ入ればカブトムシやクワガタを探ることができました。気候のよときは、毎日のように外で過ごしたものです。

二年生になったあるとき、川原のヨシの繁みの中に、ヨシキリの巣を見つけた。巣の中には、卵からかえったばかりのあかばかりの雛がばばやばやとはえたばかりのひなが、五匹いました。私は親鳥もいっしょに捕まえて飼いたい衝動にかられました。ひなを育てるチャボを飼うようなイメージを

### 日頃のちよっとした心くぼり

緑ヶ丘中学校長 橋本 恒夫



話が新聞に載った。「父さんはこんなに偉い人」と言った母の言葉が今でも私の頭の中に残っている。「医者になったきっかけを聞かれれば、これかもしれない」【元日本医師会会長 村瀬敏郎さん】

### 廿一世紀は「あいさつ」でスタート

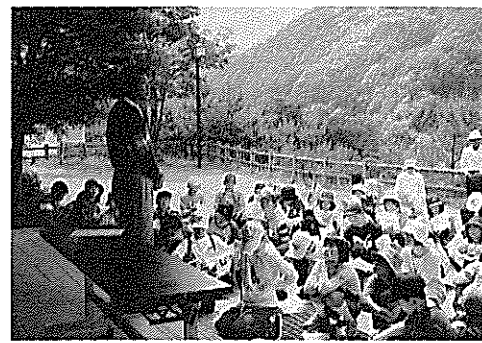
健全育成会教養部長 澤口 忠夫

この度、松尾地区に「松尾地区青少年健全育成連絡協議会」が発足しました。子供は大切な財産です。「地域の子供は地域で育てる」その第一歩として、あいさつ運動を進める事になり、育成会教養部でも、挨拶、言葉掛け運動を推進する事になりました。最近の子供は大人が声を掛けても、はずかしいのか横を向いてしまふ。山の中の子供に行き交うと大きな声で子供から先に「こんにちわ」と挨拶があります。大変気持ちの良いものです。あいさつは子供達と心を通わせる優しいシグナルです。大人と子供が挨拶を交わす中で、互を思いやれる心を育てて行きたいと思ひます。子供と大人、大人同士、機会あるごとに大きな声で「あいさつ」をしましう。

### 編集後記

本年の松尾育成会だよりも前期、後期2回発行することになりました。ここに前期号(第5号)を発行する運びとなり、ご多忙中、原稿を寄せて頂いた方々、関係者の皆様方に、深く感謝申し上げます。今後ともご理解、ご協力をお願いいたします。

広報部長 三石隆三



ウォークラリー出発前

ました。ウォークラリーは、つかれたけど最後までがんばりました。夜のキャンドルサービスは、マインマインも盛り上がり大成功でした。二日目のマレットゴルフは、しっかり進んでたけど球が無くなくなった人がいて、さがしていたら時間が無くなって終わりました。色々学べて本当に良かったです。

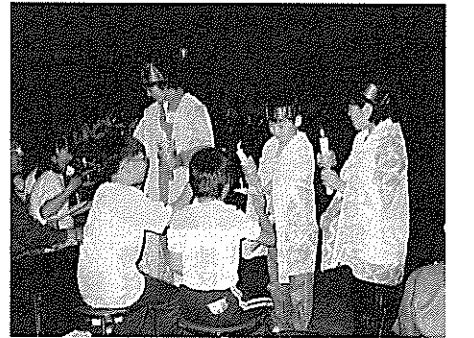
友達がたくさん出来た。松尾小六年二組 奥田 遼介

ぼく達は、松尾小学校の代表として、リーダー研修会に参加しました。ぼくは、『友達をたくさんつくる』という事を目標にしました。阿南少年自然の家に着いて、班で自己紹介や、係を決めました。本当は、食事係になりたかったけれど、班長になってしまいました。その後、部屋に入って荷物を置きました。会ったばかりなのに、すぐ仲良くなれました。すごうれしかったです。一番楽しんだウォークラリーでは、ちょっとつかれたけど、百点をとれて良かったです。ぼくは、たくさんの人と友達になれて、本当に良かったです。また参加したいです。

### 初めてのリーダー研修会

松尾小六年三組 秦 恵

私は初めてリーダー研修会に参加しました。はじめのうちは不安でいっぱいだったけど、だんだん同じ班の人と仲良くなれたので安



キャンドルの集い

ウォークラリーでは班の仲間なのにあまり話していないので、まとまりがあるかどうか心配だったけど、協力して問題を解決たのでよかったです。私は班長だったのに、班長らしいことがぜんぜんできなかったけど周りのみんなが支えてくれたので、なんとか班長として行動することができました。さすがリーダーの集まりだなと思いました。私もいろんな人を支えてあげたいと思っています。私はリーダー研修会でこんなことを勉強してきました。

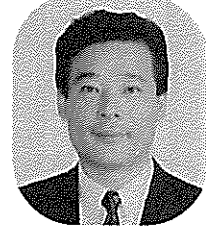
### 伊勢市との小中学生交流会に参加して

健全育成会行事部長 田中 寛

今年で24回となる伊勢市との小中学生交流会に参加して、育成会事業の大切な事を学びました。役員として初めての体験でしたので多くの戸惑いを感じましたが、長年継続されている交流会は、大変有意義な事だと思ひます。今回の交流会で、小中学生は自然に友達を作り、和気あい合いの中で班がまとまり交流出来た事には、大変驚きました。子供達の自然な触れ合いが交流会を通じて出来る事は大変良い事だと思ひます。今年の冬には伊勢市より飯田市を訪問しスキーによる交流会が計画されており、夏の交流会以上に盛会になる事を望みます。

### やはり大人が手本を

小学校PTA会長 宇佐美 進



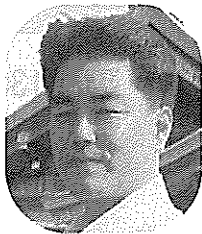
子供達をどうやって健全に育てるかは、常に古くて新しい難問だと思ひます。結局は、よく言われますように大人が手本を示すという事に尽きるでしょう。しかし、大人の社会自体が混乱している中、これがかかり難いのはご承知の通りです。価値観が多様化しているとは言え、どの国でもどの時代でも変わらない事はあります。人を傷つけない、物を奪わない、騙さない、等の最低限のルールです。理由は明らかで、自分がされたら嫌だからです。私達大人がこの点をしっ

かり認識し、例えば子供でも同じルールを守らなければ、この社会で生きられないことを理解させなければならぬと思います。

変わらぬルールとは反対に、この社会には変えるべき部分もあります。新しい総理大臣に多くの国民は一応期待しています。自分達も参加して社会のおかしな部分を変えられと大人が自覚できれば、子供にも伝わるのではないのでしょうか。それで総て解決するほど青少年育成の問題は単純ではありませんが、せめて希望は持っていなければとてやられていられせん。次の時代を作っていく子供達に活力を与えるためにも、大人がいきいきしていなければならぬと思います。

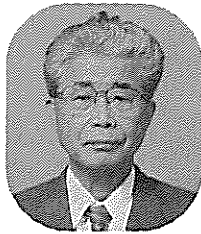
親としての思い

最後にになりましたが、日頃青少年育成にご尽力されている育成会の皆様方に、心から敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。



緑中PTA副会長 一ノ瀬博幸 今私達の周りに見渡して見ると、携帯電話、パソコンなどデジタル化が進み、一昔前とかなり生活感が変わりマスメディアとともに、社会環境も変わっています。これからの社会はいまの若者、子

元気に伸び伸びと



松尾児童クラブ 石塚 康夫 児童クラブは主に留守家庭のお子さん達をお預かりする施設です。

五年前に十九名ほどで発足しました。その後地域の皆様方に大変お世話になり現在では五十四名にもなりました。クラブではなるべく家庭的雰囲気にかつづけたいと考えています。学校から帰ったら「いただきます」「お帰りのさい。」の声をかけ合いによってコミュニケーションをとることに努めています。

次に家庭学習を思い思いに始めます。それが終わると、元気に遊ばす。良いところは、学年の違った友達がいっぱい居ることです。けがのない限り自由に伸び伸びと遊べることを願っております。

時にはトラブルも起こります。しかしそのなかから良い友達関係・社会生活のルールを身につけるものと思われま。今後ともよろしくお願ひします。

強い子どもを育てるために

社会福祉協議会会長 山内 章主 聞かれなくなった言葉『スパルタ教育』。三十五年以前、私達が

供達に託すわけですが、その為には、今の子供達に変化する生活環境で、「生きる力」を身につける事が大切になります。子どもの教育について私たち大人の願いは、「社会的自立」ではないでしょうか。これは、集団の中で協調して生きていく力を養うということ

プライベートの時間や自由という事は、私たちにとって極めて大切なものですが、それらは責任や義務、思いやりなどと同じ重さでしっかり結びついているものでなければなりません。家族の中で「ちょっと怖い存在」というのはどうでしょうか。教育には、こういう人がいないと成り立たない事もあるような気がします。子どもが何かしようとするとき、こんなことをすると叱られるだろうなと、ふっと思う、これも「親の役割」の一つではないでしょうか。

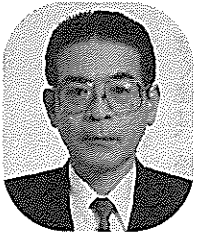
いつも子どもの言いなりになり、ものわりの良い親では、ものたりないのです。いろいろな体験をさせたいということ。自然との触れ合い、子供同士の遊び体験や家庭での会話、手伝いなど、日常生活の中にも、機会はたくさんあります。子どもたちにもいろいろな体験をさせて、色々な事を考え、感じさせたい、そんな心構えを今の子供たちに持ってもらいたいと思います。



子育ての頃 強くたくましく健康的な子を育てるために実行、よく耳にした。

二十一世紀を担う子供たちに何を望むか。強靱な体力と心、どのような苦難にも耐えられる子供になってもらいたい。親としての願いである。家庭・学校・地域が求め期待している。大人に課せられるものは何か。先ず親父の威厳と毅然たる姿勢、厳格さがある家庭での躰のできる家庭。スパルタが良いと言ふ事ではありません。時には、きびしさのある子育てが幼児期から必要ではないでしょうか。時代の流れで笑われるかも知れない。スパルタ教育を理解し、多くの家庭で是非活用実践してもらいたい。

松尾地区少年補導委員会から



少年補導委員会会長 宮澤 利一 今日の子供を取り巻く社会環境の中で、社会的な発展に積極的に

参加できる青少年の成長が強く望まれます。しかし青少年の生活環境は大きく変化し、意識、行動等生活面に、影響を与えています。

地域の保育園として



松尾保育園長 北澤 三彦 本年度も松尾保育園では、安心・安全な保育を徹底にお

の「自立心」を、その発達段階に応じて育てることを目標に指導しております。近頃は、幼児・児童の虐待に関する報道があり、その度に心が痛み、なせまたこのような悲劇が起こるのかと、怒りさえ覚えると共に地域の人達は何をしていたのだろうか。何とかできなかったのかと思われています。

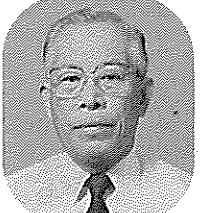
無表情

松尾東保育園園長 荒井 弘子 今年の夏、人形劇フェスタの受け付けのお手伝いをした。あまりの暑さの中、アンパンマンのうちわが配られた。私としては懸命の笑顔で「どうぞ」と差し出す。時は夏休み。これから楽しい人形劇

社会環境の悪化は幼児を含む青少年の健全育成に極めて、大きな問題となっています。いじめ、不登校、凶悪・粗暴な少年非行、薬物乱用等数多くの青少年問題が発生し、憂慮すべきところ。今、幼児虐待等多発し、毎日のように新聞紙面に掲載されています。

食事も与えず、殴る、蹴る等の暴行を繰り返す、最後は殺してしまふような行為をなせ、抵抗できない子供を相手に行うのでしよう。青少年の問題ばかりでなく、父親、母親等大人の問題もかなり存在するのではないかと思うところ。子供は父、母、家族、地域が愛情を注いで育み育てなければいけないと思ひます。

青少年を非行から守る 明るい地域づくりを 行いましょう。



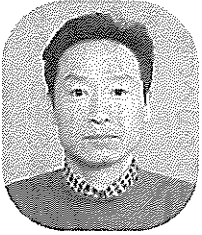
防火防犯委員会委員長 塩澤 寿治 最近の情勢は目まぐるしく変わり、地区内の犯罪非行が年々増加悪質

化しているなかで、青少年の非行防止について安全で住みよい地域づくりには皆様の御協力に感謝申し上げます。



を親子で観るといふのに、大人も子供も無表情で無言のまま、片手でほとんど全員が受取って、「にこっ」として受け取ってくれたら「ホスピタリズム」と言う言葉が浮かんだ。幼児に、手をかけ、触ってやり、語りかけ、抱っこし、おんぶして育てると、表情豊かな子供になると・・・。目と目を合わせてのコミュニケーションをたくさんしたい。

子供は宝



聖クララ幼稚園長 松長 保 日頃は、育成会の役員の方々はじめ、地域の皆様方に幼稚園の子供達が大変お世話になり紙面をお借りして御礼申し上げます。

今日、子供を取り巻く環境は決して良いものではありません。本来子供は「宝」として、大切に育てられなければならない訳ですが、毎日のように幼い命が大人の手によって傷つけられ、奪われていま

家庭は躰の寺子屋



保護司 木下 章治 現在松尾地区に三名の保護司が犯罪者の更生と犯罪の予防活動に従事しております。更生とは、犯罪をした少年が、心を改め、生活を改め、犯罪や非行をしない確かな人間になり、社会に生き返ることです。その更生を助けるのが更生保護です。この目標に向け指導しているのですが、善悪を自分で判断しなくてはいけない十七・八歳に達した頃の少年の更生指導の難しさを痛感します。

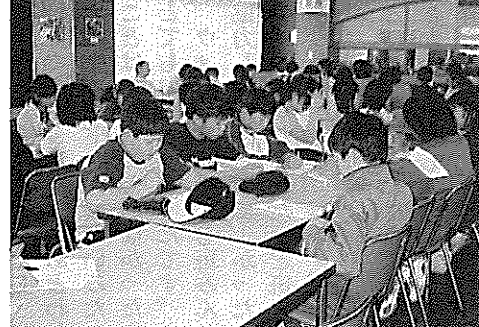
善悪は幼児期における教えこそが重要。学習塾通いも否定しませんが、未来ある子供達に「これは良いこと」「これはしてはならないこと」と家庭での躰が必要。子に学び、親は教えます。家庭は躰の寺子屋なのです。『鉄は熱いうちに打て』の諺然り。

リーダー研修会

物事に積極的に参加する心

緑中二年一組 多澤 弘貴 僕は、リーダー研修会には、六年生の頃にも行った事があるので、今回で二回目です。

リーダー研修会では、ウォークラリー、キャンドルの集い、マレットゴルフなど思い出に残る事がたくさんありました。しかし、六年生の頃とちがった



1日目 講義中

リーダー研修会に参加して

松尾小六年一組 原 修平

僕は、リーダー研修会に参加して色々学習したり友達をたくさんつくったり、色々思いになりました。最初は、同じ班の人とあまりしゃべらなかつたけど、すぐに友達になりました。班会議では、レク係になりキャンドルサービスの時の出し物は、マイムマイムになり

のは、中学生が小学生のみんなをまとめる事でした。初めは『ちゃんとまとめる事ができるかな』と不安でしたが、みんな協力してくれのおかげもあって、しっかりとまとめる事ができました。そして、この研修会で一番学んだ事は『物事に自分から積極的に参加する心』です。この事は日頃の生活から実践していったら思っています。楽しい研修会がありました。ありがとうございます。